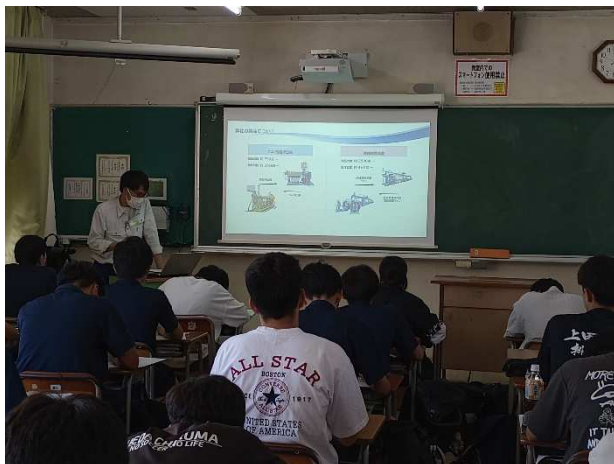


DX 企業講話 株式会社三葉製作所 様



講師

株式会社三葉製作所 技術部情報技術課 課長代理 小林 様

講話内容

- ・地域企業における DX の取組
- ・会社概要、事業内容、製品開発内容、研究内容等
- ・押出成形機について など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと等】

- ・ゴム、プラスチック押出成形機、電線製造装置、各種計測制御装置等の開発・設計・製造・販売を行っている。
- ・押出成形とは、シリンダの中でスクリーを回転させゴムやプラスチックを攪拌し吐出することで連続的に成形を行う技術である。
- ・押出成形機の応用範囲は広く、様々な製品の生産に関わっている。
- ・DX とはデータやデジタル技術を使ってビジネスモデルや企業文化の変革に取り組むこと。

【感想】

- ・今回の講話で初めて聴いた「押出成形」の動作を直接見てみたいと思った。
- ・地元の中小企業が誰でも知っているような大手企業と直接取引をしていることに驚きました。企業同士が協力して製品をつくり出すことでいい製品が出来上がり、それを使っているんだなということを再認識することができました。
- ・決して目立つような企業ではなくても縁の下の力持ちとして大手企業を支える技術を持っていてすごいと思った。

- ・研究開発の超臨界技術について、とても興味を持った。
- ・企業によって DX が違ってくるのが面白いと思った。
- ・DX を取り入れることによってスマートファクトリー化で生産性などいろんなことを向上させて、デジタル技術の活用しているなどと思った。
- ・新たな製品を製作し、新たな市場にもどんどんチャレンジしていてすごいなと思いました。
- ・ゴムやプラスチックの制作にはいろんな工程が必要だと知った。
- ・押出成形の装置は色々あり、似たような装置が多かったがよく見ると一つ一つちがっていておもしろいと思った。
- ・三葉製作所さんの名前はきいたことはあったが具体的な事業内容は知らなかったので、今回の講話で知ることができ興味が出てきた。
- ・主な製品であるゴム・樹脂押出機、電線被膜装置を 3、4 ヶ月で作れることがすごいなと思いました。